参考

法人企業景気予測調査（令和4年7－9月期調査）
季節調整値（貴社の景況）

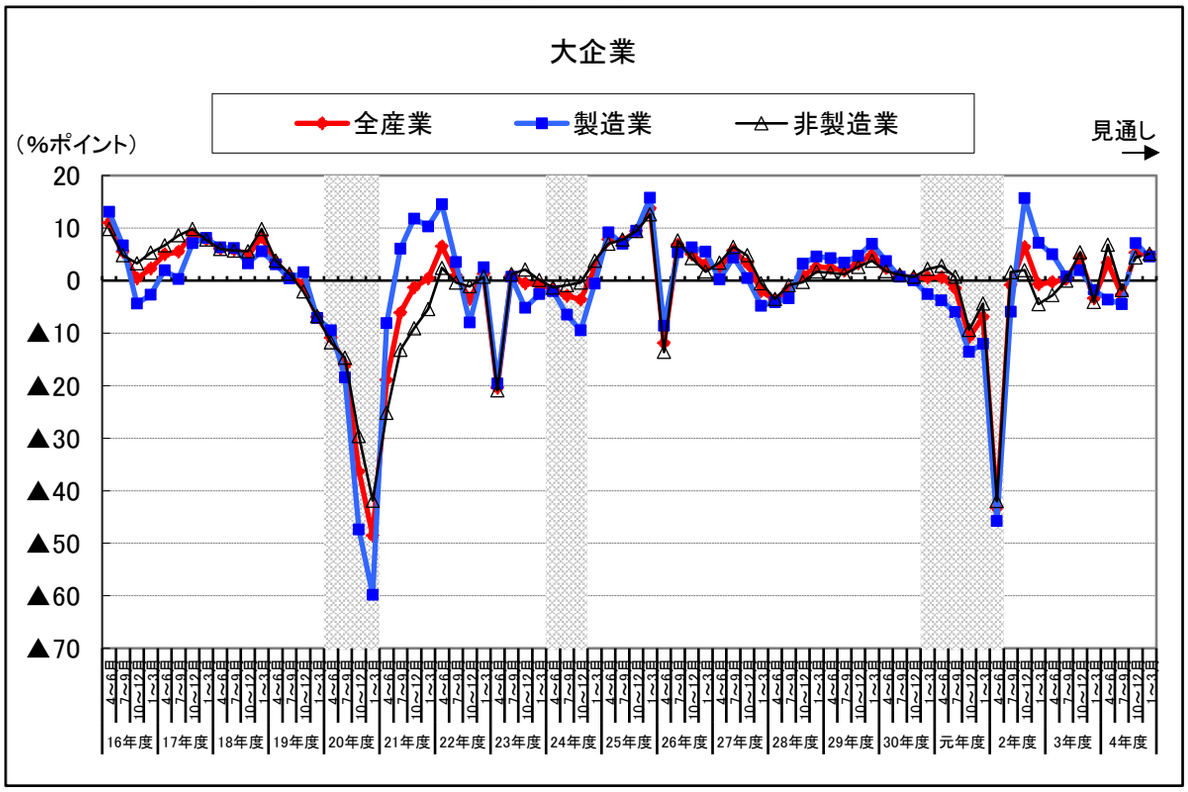
「貴社の景況判断」ＢＳＩ（季節調整値）

（単位：%ポイント）

		令和４年４～６月 前回調査	令和４年７～９月 現状判断	令和４年10～12月 見通し	令和５年１～３月 見通し
大企業	全　産　業	3.4	(3.4) ▲ 2.7	(5.0) 5.3	4.9
	製　造　業	▲ 3.6	(4.5) ▲ 4.5	(5.1) 7.1	4.6
	非 製 造 業	6.8	(2.8) ▲ 1.8	(4.9) 4.4	5.1

（注）
1. 金融業、保険業を含む。（　）書きは前回調査時の見通し。平成30年4-6月期調査から公表開始。
2. 季節調整値は、米国センサス局X-12-ARIMAによる。
3. 令和4年7-9月期までの数値は、各調査期における当期の現状判断。
令和4年10-12月期及び令和5年1-3月期の数値は、令和4年7-9月期調査時の見通し。

「貴社の景況判断」ＢＳＩ（季節調整値）の推移



（注）
1. 金融業、保険業を含む。平成30年4-6月期調査から公表開始。
2. 季節調整値は、米国センサス局X-12-ARIMAによる。
3. 令和4年7-9月期までの数値は、各調査期における当期の現状判断。
令和4年10-12月期及び令和5年1-3月期の数値は、令和4年7-9月期調査時の見通し。
4. シャドー部分は景気後退期を示す。

（参考）「貴社の景況判断」ＢＳＩの時系列（季節調整値）

（BSI：%ポイント）

		大企業		
		全産業	製造業	非製造業
		季節調整値	季節調整値	季節調整値
16年度	4～6月	11.0	13.1	9.8
	7～9月	5.5	6.7	4.8
	10～12月	0.4	▲ 4.4	3.3
	1～3月	2.3	▲ 2.7	5.3
17年度	4～6月	5.0	2.0	6.7
	7～9月	5.5	0.3	8.6
	10～12月	8.8	7.1	9.8
	1～3月	7.9	8.1	7.8
18年度	4～6月	6.1	6.3	6.0
	7～9月	5.9	6.2	5.7
	10～12月	4.7	3.3	5.6
	1～3月	8.3	5.6	9.8
19年度	4～6月	3.5	3.1	3.8
	7～9月	0.9	0.4	1.3
	10～12月	▲ 0.7	1.6	▲ 2.1
	1～3月	▲ 6.9	▲ 7.1	▲ 6.8
20年度	4～6月	▲ 10.9	▲ 9.5	▲ 11.8
	7～9月	▲ 16.1	▲ 18.4	▲ 14.7
	10～12月	▲ 36.3	▲ 47.4	▲ 29.6
	1～3月	▲ 48.6	▲ 59.8	▲ 41.9
21年度	4～6月	▲ 18.9	▲ 8.1	▲ 25.2
	7～9月	▲ 6.1	6.1	▲ 13.2
	10～12月	▲ 1.3	11.8	▲ 9.1
	1～3月	0.4	10.3	▲ 5.4
22年度	4～6月	6.5	14.5	2.4
	7～9月	1.0	3.5	▲ 0.4
	10～12月	▲ 3.5	▲ 8.0	▲ 1.1
	1～3月	1.3	2.5	0.7
23年度	4～6月	▲ 20.4	▲ 19.6	▲ 20.9
	7～9月	1.0	0.7	1.2
	10～12月	▲ 0.5	▲ 5.2	2.1
	1～3月	▲ 0.8	▲ 2.6	0.1
24年度	4～6月	▲ 1.6	▲ 2.0	▲ 1.3
	7～9月	▲ 2.9	▲ 6.5	▲ 0.9
	10～12月	▲ 3.6	▲ 9.5	▲ 0.4
	1～3月	2.3	▲ 0.6	3.8
25年度	4～6月	7.8	9.2	7.0
	7～9月	7.5	7.0	7.8
	10～12月	9.4	9.5	9.4
	1～3月	13.7	15.8	12.6
26年度	4～6月	▲ 11.9	▲ 8.6	▲ 13.6
	7～9月	6.8	5.4	7.6
	10～12月	5.0	6.3	4.3
	1～3月	3.0	5.5	1.7
27年度	4～6月	2.3	0.2	3.4
	7～9月	5.7	4.4	6.4
	10～12月	3.3	0.5	4.8
	1～3月	▲ 2.0	▲ 4.8	▲ 0.5
28年度	4～6月	▲ 3.7	▲ 4.1	▲ 3.5
	7～9月	▲ 1.7	▲ 3.4	▲ 0.9
	10～12月	0.9	3.2	▲ 0.3
	1～3月	2.6	4.6	1.7
29年度	4～6月	2.4	4.3	1.5
	7～9月	1.9	3.4	1.2
	10～12月	3.3	4.7	2.6
	1～3月	4.9	7.0	3.8
30年度	4～6月	2.4	3.7	1.8
	7～9月	1.0	0.7	1.1
	10～12月	0.5	0.0	0.7
	1～3月	0.6	▲ 2.6	2.2

		大企業			
		全産業	製造業	非製造業	
		季節調整値	季節調整値	季節調整値	
元年度	4～6月	0.6	▲ 3.8	2.8	
	7～9月	▲ 1.5	▲ 6.0	0.7	
	10～12月	▲ 10.8	▲ 13.6	▲ 9.4	
	1～3月	▲ 6.9	▲ 12.0	▲ 4.4	
２年度	4～6月	▲ 43.3	▲ 45.8	▲ 42.0	
	7～9月	▲ 0.8	▲ 5.9	1.6	
	10～12月	6.4	15.7	2.0	
	1～3月	▲ 0.7	7.2	▲ 4.5	
３年度	4～6月	▲ 0.3	5.0	▲ 2.8	
	7～9月	0.3	0.8	0.0	
	10～12月	4.3	2.0	5.4	
	1～3月	▲ 3.4	▲ 1.8	▲ 4.1	
４年度	4～6月	3.4	▲ 3.6	6.8	
	7～9月	▲ 2.7	▲ 4.5	▲ 1.8	
	10～12月	5.3	7.1	4.4	←見通し（翌期）
	1～3月	4.9	4.6	5.1	←見通し（翌々期）

（注）
1. 金融業、保険業を含む。平成30年4-6月期調査から公表開始。
2. 季節調整は、米国センサス局X-12-ARIMAによる。
3. 令和4年7-9月期までの数値は、各調査期における当期の現状判断。令和4年10-12月期及び令和5年1-3月期の数値は、令和4年7-9月期調査時の見通し。

（別紙）「貴社の景況判断」ＢＳＩ（大企業）の季節調整方法について（法人企業景気予測調査）

（１）平成30年４－６月期より、参考として季節調整値の公表を開始した。季節調整は、外部有識者の協力を得て、センサス局法X-12-ARIMAにより行う※。

（２）業種は、全産業、製造業及び非製造業とする。

（３）（２）の季節調整値は、以下により算出する（イメージ図（Ｐ．５）を参照）。

（季節調整を行う系列：計６系列）

a. 製造業（現状判断（当期）、見通し（翌期）、見通し（翌々期）の３系列））

①毎年４－６月期調査の公表時に際し、調査開始（平成16年４－６月期）から前年度までの期間について、前年度分のデータ追加や季節調整スペックの見直しにより季節調整値の改訂を行うとともに、当年度１年分（４期分）に適用する予定季節指数を算出する。

②当年度の各調査期の季節調整値は、予定季節指数により算出する。

b. 非製造業（現状判断（当期）、見通し（翌期）、見通し（翌々期）の３系列）

a. に同じ

（公表系列：計３系列）

A. 製造業（１系列）

a. 製造業のうち、現状判断（当期）の季節調整済み時系列データ（直近調査期までの全期間）に、見通し（翌期）及び見通し（翌々期）の季節調整値（それぞれ直近調査期の１時点のみ）を接続する。

B. 非製造業（１系列）

Ａ．に同じ

C. 全産業（１系列）

Ａ．及びＢ．と、それぞれの母集団法人数を用いて、以下の式により算出する。なお、端数処理の関係で、公表された製造業、非製造業の値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

$$\text{C. 全産業（季節調整値）} = \frac{[\,(\text{A. 製造業（季節調整値）} \times \text{製造業母集団法人数}) + (\text{B. 非製造業（季節調整値）} \times \text{非製造業母集団法人数})\,]}{[\,\text{製造業母集団法人数} + \text{非製造業母集団法人数}\,]}$$

※ 令和４年4－6月期の公表に当たり、季節調整値の改訂を実施した。詳細は、「法人企業景気予測調査の季節調整値の改訂について」（https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/hojin/season_kaitei20220613.pdf）を参照。

（4）　「貴社の景況判断」ＢＳＩ（大企業）の X-12-ARIMA による季節調整スペックの概要については、以下の表を参照。

「貴社の景況（大企業）」BSIのX-12-ARIMAによる季節調整スペック概要

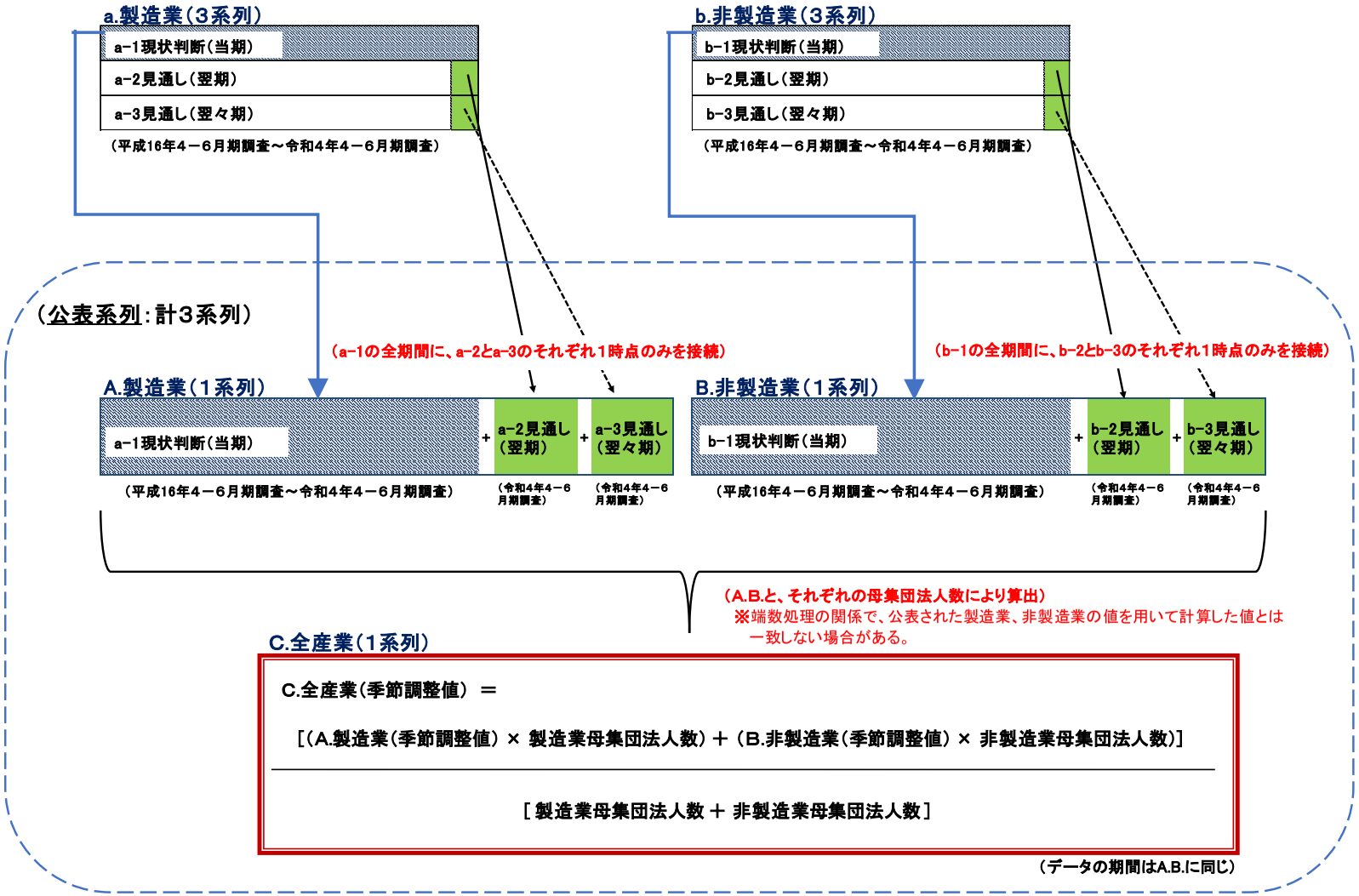
系列名	製造業・当期	製造業・翌期	製造業・翌々期
データ期間	平成16年4－6月期～令和4年1－3月期		
データ加工	対数変換なし	対数変換なし	対数変換なし
異常値等（注1）、（注2）	異常値(LS2008.4, LS2009.2, AO2020.2)	異常値(TC2008.4, AO2009.1, AO2014.1, AO2020.2)	異常値（LS2009.2, TC2013.4）
ARIMAモデル(注1)	（０１１）（０１１）	（３０１）（０１１）	（０１１）（０１１）
X11パートの設定(注3)	①モデルのタイプ: 加法型 ②移動平均項数: seasonalma=MSR(3×5が選定) ③ヘンダーソン移動平均項目数: 5項 ④特異項の管理限界: 下限1.5σ　上限2.5σ		
その他(注4)	予測期間は4四半期	予測期間は8四半期	予測期間は4四半期

系列名	非製造業・当期	非製造業・翌期	非製造業・翌々期
データ期間	平成16年4－6月期～令和4年1－3月期		
データ加工	対数変換なし	対数変換なし	対数変換なし
異常値等	異常値（TC2008.4, TC2009.1, AO2011.2, AO2014.2, TC2019.4, AO2020.2）	異常値(LS2008.4, LS2009.2, AO2014.1, TC2020.2)	異常値（LS2009.2, AO2013.4, TC2019.2）
ARIMAモデル	（２００）（０１０）	（３１１）（０１１）	（１１０）（０１１）
X11パートの設定	①モデルのタイプ: 加法型 ②移動平均項数: seasonalma=MSR(当期3×3, 翌期3×9, 翌々期3×5が選定) ③ヘンダーソン移動平均項目数: 5項 ④特異項の管理限界: 下限1.5σ　上限2.5σ		
その他	予測期間は0四半期	予測期間は0四半期	予測期間は0四半期

（注）

1. ARIMA モデルについては、X-12-ARIMA のモデル選定機能（automdl コマンド）を用いて階差及び次数を選定している。
   曜日調整・うるう年調整は行っていない。
2. 異常値検出は、X-12-ARIMA の outlier コマンドを用いている。
3. X11 パートの設定項目のうち②及び③は X11 コマンドによる選定結果を用いている。
4. 予測期間は MAPR が最小となるものを選択。なお、X-11 デフォルトは採用しない。

イメージ図（令和4年4－6月期調査の例）

（季節調整を行う系列：計6系列）

（平成16年4－6月期調査～前年度までの時系列データの季節調整値を改訂。令和4年4－6月期調査の季節調整値は、予定季節指数により算出。）